

横浜市総合評価落札方式ガイドライン

平成 29 年 4 月版

横 浜 市

目 次

1	はじめに	・・・	1
2	公共工事の総合評価落札方式の概念	・・・	1
3	基本的運用		
	(1) 落札者の決定の概要	・・・	1
	(2) 総合評価落札方式の型	・・・	1
	(3) 評価項目及び評価基準	・・・	3
4	総合評価落札方式の手続きの流れ	・・・	8
	(1) 入札公告、評価項目、落札者決定基準公表	・・・	9
	(2) 技術資料の質問	・・・	9
	(3) 技術資料の回答	・・・	9
	(4) 技術資料の作成・欠格要件の確認	・・・	10
	(5) 技術審査資料の受付・入札	・・・	18
	(6) 技術資料の審査・技術点の算出	・・・	18
	(7) 開札・評価値の算出	・・・	19
	(8) 入札参加資格確認資料の受付・審査	・・・	20
	(9) 低入札価格調査	・・・	20
	(10) 落札者の決定・契約・評価結果の公表	・・・	20
	(11) 工事着手	・・・	20
	(12) 技術提案の履行状況の確認	・・・	21
5	評価項目に関する運用及び留意事項	・・・	22
	(1) 同種工事の施工実績	・・・	22
	(2) 工事成績評定点の実績	・・・	24
	(3) 横浜市優良工事施工会社表彰の実績	・・・	25
	(4) 配置予定技術者の施工経験	・・・	27
	(5) 配置予定現場代理人の横浜市優良工事責任者表彰の実績	・・・	29
	(6) 若手技術者の登用	・・・	31
	(7) 品質管理マネジメントシステムの取組状況	・・・	33
	(8) 女性技術者の登用	・・・	34
	(9) 地域精通度・地域との密着度	・・・	36
	(10) 災害協力	・・・	37
	(11) 環境に対する姿勢	・・・	38
	(12) 市内経済への貢献	・・・	39
	(13) 地域への貢献	・・・	41
	(14) 災害発生時の対応力	・・・	42
	(15) 災害出動実績	・・・	44
	(16) 男女共同参画及び女性活躍の推進	・・・	45
	(17) 新たな担い手の育成	・・・	47

1 はじめに

本ガイドラインは、横浜市での総合評価落札方式に関する基本的事項を示すもので、本市が発注する公共工事のうち、総合評価落札方式を採用するものに適用します。

2 公共工事の総合評価落札方式の概念

総合評価落札方式とは、企業の技術力等と価格の双方を総合的に評価し落札者を決定する方式です。この方式は、標準的な設計、施工方法に基づき最も安い価格で入札した企業を落札者としてきた従来の入札方式とは異なり、より技術力の高い企業が落札者となりやすく、工事の品質の向上、企業の技術開発の促進、入札談合の抑制等の効果が期待される入札方式です。

横浜市では、平成18年度から一般競争入札における総合評価落札方式による工事発注を進めています。

3 基本的運用

(1) 落札者の決定の概要

入札に参加しようとする企業（入札参加者）に対して、本市が提示する技術提案、施工計画、施工能力等についての評価項目に関する技術資料を求め、予め設定した評価基準に基づき採点し、その点数（加算点）と標準点（100点）の合計点（技術評価点）を入札価格で除した数値（評価値）の最も高い企業を落札者とする方式です。

$$\begin{aligned} \text{評価値} &= \text{技術評価点} \div \text{入札価格} \\ &= (\text{標準点} + \text{加算点}) \div \text{入札価格} \end{aligned}$$

100点

入札参加者から提出された技術提案、施工計画、施工能力等の資料を点数化した合計値

- ①標準点は100点とします。
- ②上記の入札価格は消費税及び地方消費税を除いた価格とし、単位は億円単位とします。
- ③評価値は、小数点以下第4位未満を切り捨てます。

ただし、評価値の算出にあたり、入札価格が調査基準価格を下回った場合には、入札価格を調査基準価格として「評価値」を算定します。

なお、契約は入札した価格で行います。

詳細は、P19（7）開札・評価値の算出を参照ください。

(2) 総合評価落札方式の型

価格以外の評価要素を、適用する工事の難易度（技術的な工夫の余地）や予定価格（工事規模）に応じて使い分けます。横浜市の総合評価落札方式では、標準型、簡易型、特別簡易型の3タイプに区分しており、評価項目の概要をより分かりやすくするため、型の名称にサブタイトルを付けています。これらに加え高度技術提案型がありますが、本ガイドラインでは対象としておりません。

ア 標準型【技術提案評価型】

技術的な工夫の余地が大きく、施工上の工夫等の技術提案等を求める工事に適用します。総合的なコストや工事目的物の性能・強度等に関する技術提案、簡易な施工計画、企業の施工能力等と入札価格とを総合的に評価するものです。

イ 簡易型【施工計画評価型】

技術的な工夫の余地が小さい一般的な工事において、特定のテーマに沿って作成された「簡易な施工計画」の他、同種工事の施工実績や工事成績等の評価項目と入札価格とを総合的に評価するものです。

ウ 特別簡易型【施工実績・社会性等評価型】

技術的な工夫の余地が小さい一般的で比較的小規模な工事において、「簡易な施工計画」を要件とせず、同種工事の施工実績や工事成績等、定量化された評価項目と入札価格とを総合的に評価するものです。

エ 総合評価落札方式の概念

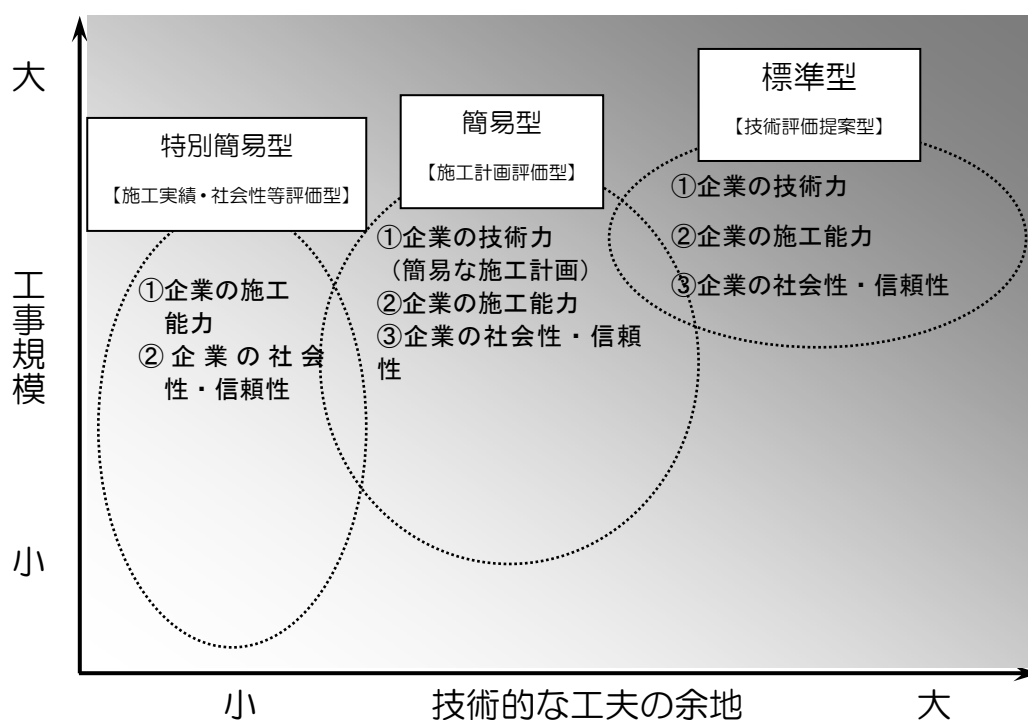


図1 型のイメージ図

予定価格3億円以上の工事については原則として総合評価落札方式（標準型、簡易型）を、3億円未満の工事についても工事の内容等に応じて、標準型、簡易型、特別簡易型を積極的に適用します。

(3) 評価項目及び評価基準

ア 評価項目一覧

工事の特性・現場条件等に応じて評価項目を選定します。

○:選択可

表 1 評価項目一覧

評価 分類	評価項目		適用			配点	配点 割合
			標準型	簡易型	特別簡易型		
企業の 技術力	技術 提案	総合的なコストに関する提案	○			個別に 設定	企業の 技術力 を 50% 以上と します (特別 簡易型 除く)
		工事目的物の性能・強度等に関する提案	1項目以 上必ず選 択	-	-		
		社会的要請に対応した提案					
		技術提案に係る施工計画	○	-	-		
	簡易 な 施工 計画	工程管理に係る技術的所見	○	1項目 以上必 ず選択 (注)	-	0/3/6	
		品質管理に係る技術的所見				0/3/6	
		施工上の課題に係る技術的所見				0/3/6	
		施工上配慮すべき事項				0/3/6	
		安全管理に留意すべき事項				0/3/6	
		環境負荷軽減に配慮すべき事項				0/3/6	
企業の 施工能 力	同種工事の施工実績		○	○	○	0/2/4	
	工事成績評定点の実績					0/2/4	
	優良工事施工会社表彰の実績					0/2/4	
	配置予定技術者の施工経験					0/2/4	
	配置予定現場代理人の優良工事現場責任者表彰の実績					0/2	
	若手技術者の登用					0/2	
	品質管理マネジメントシステムの取組状況					0/2	
	女性技術者の登用					0/2	
	その他					0/1	
企業の 社会性 ・信頼性	地域精通度・地域との密着度		○	○	○	0/2(4)	
	災害協力					0/2	
	環境に対する姿勢					0/2	
	市内経済への貢献					0/2/4	
	地域への貢献					0/2	
	災害発生時の対応力					0/1	
	災害出動実績					0/1	
	男女共同参画及び女性活躍の推進					0/1/2	
その他		0/1					
	低入札価格での入札		-	-	○	0/-5	

「企業の施工能力」及び「企業の社会性・信頼性」の項目は、工事内容を踏まえて選択します。
ただし、WTO案件については、選択できる項目が限られます。

イ 標準型【技術提案評価型】

企業の技術力の評価分類の「技術提案」の項目は、1項目以上設定します。
それ以外の評価項目は、簡易型と同様、工事ごとの特性により設定します。

表2 標準型の評価項目

評価分類	評価項目	評価項目の内容	配点の満点
企業の技術力	技術提案	総合的なコストに関する提案	工事ごとに1項目以上設定します
		工事目的物の性能・強度等に関する提案	
		社会的要請に対応した提案	
		技術提案に係る施工計画	
	簡易な施工計画	工程管理に係る技術的所見	6
		品質管理に係る技術的所見	6
		施工上の課題に係る技術的所見	6
施工上配慮すべき事項		6	
安全管理に留意すべき事項		6	
	環境負荷軽減に配慮すべき事項	6	
企業の施工能力	同種工事の施工実績	過去15年間の同種工事の施工実績の有無	4
	工事成績評定点の実績	過去2年間の同一登録工種での工事成績評定点80点以上の回数	4
	横浜市優良工事施工会社表彰の実績	過去5年間の横浜市優良工事施工会社表彰の回数	4
	配置予定技術者の施工経験	配置予定技術者が有する過去15年間の同種工事の施工経験の有無	4
	配置予定現場代理人の横浜市優良工事現場責任者表彰の実績	過去5年間の配置予定現場代理人の横浜市優良工事現場責任者表彰の有無	2
	若手技術者の登用	入札公告で定める技術者に若手技術者を配置	2
	品質管理マネジメントシステムの取組状況	品質管理マネジメントシステム（ISO9001）の取得の有無	2
	女性技術者の登用	入札公告で定める技術者に女性技術者を配置	2
	その他	適用する工事にて提示します	適用工事で設定します
企業の社会性・信頼性	地域精通度・地域との密着度	建設業の許可における主たる営業所の所在地と工事施工場所の位置関係	2
	災害協力	横浜市災害協力事業者名簿掲載の有無	2
	環境に対する姿勢	環境マネジメントシステム（ISO14001）の取得の有無	2
	市内経済への貢献	本工事における市内中小企業の活用状況	4
	地域への貢献	横浜型地域貢献企業の認定の有無	2
	災害発生時の対応力	建設機械の保有状況	1
	災害出動実績	前年度に当該土木事務所が発注した緊急契約工事で、出動した元請会社（災害時協力協定に基づいた契約は協力会社も含む）	1
	男女共同参画及び女性活躍の推進	・次世代育成支援対策推進法と女性活躍推進法の一般事業主行動計画の任意届出（1点）と任意認定（2点） ・よこはまグッドバランス賞の認定	2
その他	適用する工事にて提示します	適用工事で設定します	

評価項目の満点の範囲

30点～50点

ウ 簡易型【施工計画評価型】

企業の技術力の評価分類の「簡易な施工計画」の評価項目は、1 項目以上設定します。それ以外の評価項目は、工事の特性等により設定します。

表 3 簡易型の評価項目

評価分類	評価項目	評価項目の内容	配点の満点
企業の技術力	簡易な施工計画	工程管理に係る技術的所見	6
		品質管理に係る技術的所見	6
		施工上の課題に係る技術的所見	6
		施工上配慮すべき事項	6
		安全管理に留意すべき事項	6
		環境負荷軽減に配慮すべき事項	6
企業の施工能力	同種工事の施工実績	過去 15 年間の同種工事の施工実績の有無	4
	工事成績評定点の実績	過去 2 年間の同一登録工種での工事成績評定点 80 点以上の回数	4
	横浜市優良工事施工会社表彰の実績	過去 5 年間の横浜市優良工事施工会社表彰の回数	4
	配置予定技術者の施工経験	配置予定技術者が有する過去 15 年間の同種工事の施工経験の有無	4
	配置予定現場代理人の横浜市優良工事現場責任者表彰の実績	過去 5 年間の配置予定現場代理人の横浜市優良工事現場責任者表彰の有無	2
	若手技術者の登用	入札公告で定める技術者に若手技術者を配置	2
	品質管理マネジメントシステムの取組状況	品質管理マネジメントシステム (ISO9001) の取得の有無	2
	女性技術者の登用	入札公告で定める技術者に女性技術者を配置	2
	その他	適用する工事にて提示します	適用工事で設定します
企業の社会性・信頼性	地域精通度・地域との密着度	建設業の許可における主たる営業所の所在地と工事施工場所の位置関係	2
	災害協力	横浜市災害協力事業者名簿登載の有無	2
	環境に対する姿勢	環境マネジメントシステム (ISO14001) の取得の有無	2
	市内経済への貢献	本工事における市内中小企業の活用状況	4
	地域への貢献	横浜型地域貢献企業の認定の有無	2
	災害発生時の対応力	建設機械の保有状況	1
	災害出勤実績	前年度に当該土木事務所が発注した緊急契約の工事で、出勤した元請会社 (災害時協力協定に基づいた契約は協力会社も含む)	1
	男女共同参画及び女性活躍の推進	・次世代育成支援対策推進法と女性活躍推進法の一般事業主行動計画の任意届出 (1 点) と任意認定 (2 点) ・よこはまグッドバランス賞の認定	2
	その他	適用する工事にて提示します	適用工事で設定します

評価項目の満点の範囲

12点～40点

工 特別簡易型【施工実績・社会性等評価型】

評価項目は、工事の特性等により設定します。

表4 特別簡易型の評価項目

評価分類	評価項目	評価項目の内容	配点の満点
企業の施工能力	同種工事の施工実績	過去15年間の同種工事の施工実績の有無	4
	工事成績評定点の実績	過去2年間の同一登録工種での工事成績評定点80点以上の回数	4
	横浜市優良工事施工会社表彰の実績	過去5年間の横浜市優良工事施工会社表彰の回数	4
	配置予定技術者の施工経験	配置予定技術者が有する過去15年間の同種工事の施工経験の有無	4
	配置予定現場代理人の横浜市優良工事現場責任者表彰の実績	過去5年間の配置予定現場代理人の横浜市優良工事現場責任者表彰の有無	2
	若手技術者の登用	入札公告で定める技術者に若手技術者を配置	2
	品質管理マネジメントシステムの取組状況	品質管理マネジメントシステム（ISO9001）の取得の有無	2
	女性技術者の登用	入札公告で定める技術者に女性技術者を配置	2
	その他	適用する工事にて提示します	適用工事で設定します
企業の社会性・信頼性	地域精通度・地域との密着度	建設業の許可における主たる営業所の所在地と工事施工場所の位置関係	2(4)※1
	災害協力	横浜市災害協力事業者名簿登載の有無	2
	環境に対する姿勢	環境マネジメントシステム（ISO14001）の取得の有無	2
	市内経済への貢献	本工事における市内中小企業の活用状況	4
	地域への貢献	横浜型地域貢献企業の認定の有無	2
	災害発生時の対応力	建設機械の保有状況	1
	災害出動実績	前年度に当該土木事務所が発注した緊急契約の工事で、出勤した元請会社（災害時協力協定に基づいた契約は協力会社も含む）	1
	男女共同参画及び女性活躍の推進	・次世代育成支援対策推進法と女性活躍推進法の一般事業主行動計画の任意届出（1点）と任意認定（2点） ・よこはまグッドバランス賞の認定	2
その他	適用する工事にて提示します	適用工事で設定します	
入札価格の状況		本工事における低入札価格での入札状況	-5

※1：この項目の評価配点は2点ですが、土木管内舗装補修（応急修理）工事については、4点とします。

評価項目の満点の範囲	10点～30点
------------	---------

オ 評価項目及び評価基準の公表

個々の工事の評価項目、評価基準、配点は、工事の特性により設定し、入札公告時に実施要領書により公表します。実施要領書は、設計書と共にダウンロードします。

企業の技術力に関する項目の評価基準は、工事毎に設定します。企業の施工能力、社会性・信頼性に関する項目の評価基準は、P22～P48を参照ください。

カ 評価の基準日

各評価項目の評価の基準日は、入札期間の最終日です。

ただし、評価項目「災害協力」の基準日は、入札公告日になります。

【例】品質管理マネジメントシステムの取組状況の評価においては、入札期間の最終日におけるISO9001の取得状況の有無で評価します。

キ 加算点の設定範囲

工事ごとに、次の加算点の範囲で、項目を設定しています。

表5 評価項目の加算範囲

総合評価落札方式のタイプ	評価項目の満点の範囲
標準型【技術提案評価型】	30点～50点
簡易型【施工計画評価型】	12点～40点
特別簡易型【施工実績・社会性等評価型】	10点～30点

以降、本ガイドラインでは、標準型【技術提案評価型】を標準型、簡易型【施工計画評価型】を簡易型、特別簡易型【施工実績・社会性等評価型】を特別簡易型と示します。

4 総合評価落札方式の手続きの流れ

本市の総合評価落札方式の手続きの流れは、基本的には次のように行われます。
 なお、政府調達協定（WTO）の対象工事では、入札参加資格は事前審査となります。



(1) 入札公告、評価項目・落札者決定基準公表

価格と価格以外の要素を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式においては、価格以外の評価要素として、企業の技術力等を技術資料として提出していただきます。

個々の工事の評価項目、評価基準、配点及び満点は、工事の特性により設定し、入札公告に合わせて実施要領書により公表します。

そのために必要な書類は横浜市ホームページ内「ヨコハマ・入札のとびら」の発注情報画面より、該当工事の設計図書と共に、実施要領書をダウンロードしてください。

(<http://keiyaku.city.yokohama.lg.jp/epco/servlet/p?job=HacchuJohoKojiSearch>)

(2) 技術資料の質問

技術資料を作成するにあたり質問がある場合は、「設計図書に対する質問書」により上記スケジュールに定める期間内に提出してください。具体的な質問方法は設計図書をご覧ください。

入札の公平性を保つために、個別案件の電話による質問は受け付けることが出来ませんので質問書をご活用ください。

また、「企業の技術力」において、提案内容が何点となるか等の評価基準に関する質問については、回答いたしません。

評価項目「同種工事の施工実績」、「地域精通度・地域との密着度」において、添付資料名でプルダウンリストから「その他の資料」を選択する場合。(P22、P36参照)

ア 従前の工事で有効を確認した資料でも必ず質問期間内に質問書により、添付資料が今回工事で有効か確認してください。

イ 未確認の資料は評価対象としません。

(3) 技術資料の回答

技術資料の回答は、「技術資料作成に関する質問回答書」や「設計図書に関する質問と回答」等により、発注各局（発注各区土木事務所）のホームページに掲載します。

(4) 技術資料の作成・欠格要件の確認

ア 技術資料提出書の各様式等の取扱い

各様式を記載する際の扱い方を示します。なお、標準型では様式が追加され、工事内容により実施要領書の本文、様式等のスタイルを大幅に変更することがあります。

本市の実施要領書はマイクロソフト社のエクセルにて配布しています。各エクセルシートの構成は以下のとおりです。ダウンロードした実施要領書から提出書類（技術資料）を作成するには、以下の網かけで示すシートにて記入が必要となります。

実施要領書

- ト 技術資料基本情報入力シート
- ト 技術評価情報入力シート
- ト 実施要領書
- ト 第1号様式 技術資料提出書(標準型、簡易型、特別簡易型)
- ト 第2号様式 実務経験証明書(簡易型、特別簡易型)
- ト 第3号様式 工程管理に係る技術的所見(標準型、簡易型)
- ト 第4号様式 品質管理に係る技術的所見(標準型、簡易型)
- ト 第5号様式 施工上の課題に係る技術的所見(標準型、簡易型)
- ト 第6号様式 施工上配慮すべき事項(標準型、簡易型)
- ト 第7号様式 安全管理に留意すべき事項(標準型、簡易型)
- ト 第8号様式 環境負荷軽減に配慮すべき事項(標準型、簡易型)

※ 9号様式以降は、標準型の「技術提案」の内容になります。

※ 技術評価情報入力シートの評価項目等については、「5 評価項目に関する運用及び留意事項」の各ページを参照してください。

(ア) 技術資料作成入力シートにおける留意点

- 基本的に入力するセル以外は保護設定がされていますので、セルの追加や削除といった編集は行えません。
- 各シートにおいてセルのリンクを使用して、表示や式の展開を行っていますので、シートの削除は行わないでください。

(イ) 入力シート1（基本情報）

- 社名や配置予定技術者名など基本的な情報を入力するシートです。
- 社名や住所など共通する情報を、第1号様式以降の提出資料にリンクして表示します。基本的な情報を修正する場合は、必ずこのシートで行います。

(ウ) 入力シート2 (評価情報)

- 評価項目に対して自社の施工実績などの評価情報を入力するシートです。このシートに必要な事項を入力し**技術資料提出書 (第1号様式)**を作成します。

■ 技術評価情報入力シート

分類	評価項目	評価基準	配点	自己評価	実績等記入欄	記入方法等	添付資料の添付
企業の施工能力	同種工事の施工実績 過去1年間の同種工事の施工実績を評価します。 同種工事：施工面積200㎡以上の必要設備工事	元請として7年連続的に完成した本市指定の同種工事の施工実績がある。	4	0	同種工事の施工実績	【施工実績】 同種工事の施工実績をプルダウンリストから選択して入力します。	(1)コリンツ登録があり、登録種類で施工実績が認められる場合は、コリンツ登録の登録内容を入力してください。
		元請として7年連続的に完成した本市指定以外の同種工事の施工実績がある。	2		工事名	【工事名】 入力不要です。添付資料で確認します。	(2)コリンツ登録種類で当該施工実績が認められない場合は同種工事の種別名、施工種別名、同種工事であったこと、種別名、工事登録種別名、平価区分等を入力してください。工事内容だけでなく、評価項目を構成していることを具体的に説明できる内容を入力してください。
		同種工事の施工実績なし。	0		添付資料名	【添付資料】 添付資料をプルダウンリストから選択して入力します。 【その他資料】 必要に応じて、下記に名称を登録入力してください。	(3) 上記以外の資料を添付する場合は、添付の工事で実績を認定した資料よりも更新履歴の更新履歴により添付資料が今年度工事の実績と認定されていること、当該資料の更新履歴を添付してください。
工事時 建設費の削減	過去1年間の同一業種工事(建設費削減)の削減率を評価します。 (※注)	本市指定工事において7年連続的に削減率10%以上の削減率を達成した工事の施工実績がある。	4	0	同一業種工事での削減率10%以上の実績	削減率10%以上の削減率をプルダウンリストから選択して入力します。	削減率の報告は、削減となる工事の実績結果報告書の添付が必要です。削減率が「2%以上」の場合は当該工事の実績結果報告書の添付をお願いします。
		本市指定工事において7年連続的に削減率5%以上の削減率を達成した工事の施工実績がある。	2		添付資料名	【添付資料】 削減率10%以上の削減率をプルダウンリストから選択して入力します。	削減率の報告は、削減となる工事の実績結果報告書の添付が必要です。削減率が「2%以上」の場合は当該工事の実績結果報告書の添付をお願いします。
		削減なし。	0				
構造等 優良工事表彰の受賞	過去1年間の優良工事表彰(構造等)の受賞率を評価します。 (※注)	同業種工事(構造等)において7年連続的に受賞した工事の施工実績がある。	4	0	同業種工事(構造等)での受賞実績	【受賞実績】 同業種工事(構造等)での受賞実績をプルダウンリストから選択して入力します。	(1) 対象となる「優良西宮市建設工事業協会」の表彰(表彰) (4)に該当する項目を入力してください。
		同業種工事(構造等)において7年連続的に受賞した工事の施工実績がある。	2		添付資料名	【添付資料】 添付資料をプルダウンリストから選択して入力します。	(2) 構造等優良工事表彰(構造等)の受賞率をプルダウンリストから選択して入力します。この時、対象となる表彰が分かるよう、会社名を入力してください。
		受賞なし。	0				

- 入力が必要なのは【実績等記入欄】です。この入力情報が、**技術資料提出書 (第1号様式)**に記載されます。
- 【評価項目】欄は、各項目において評価する対象や評価期間などが明示されています。
- 評価項目欄に「今回工事ではこの項目を適用しません」としている項目は、入力不要です。

評価項目	評価基準
同種工事の施工実績	今回工事ではこの項目を適用しません。

- 【自己評価点】欄は、実績等記入欄に入力した内容により、評価基準に合わせて自動で採点を行います。ただし、必要な項目を全て入力するまでは0点と表示されます。
- 添付資料については、【添付資料の説明】欄を必ず確認してください。
- 各評価項目の入力方法、添付書類等については巻末の【評価項目に関する運用及び留意事項】を参照してください。

(エ) 【実績等記入欄】入力の注意事項

- 各評価項目の入力は、必ず上から順番に行ってください。
- 入力の多くをプルダウンリストにより行っていますが、上段セルの選択内容により下段セルに表示するプルダウンリストの内容を変更する処理を行っています。このため、一度入力した後に、上位セルの入力を変更すると、下位セルで選択した内容が不整合となる場合があります。
- 入力の変更を行う場合は、その評価項目に関する全ての入力を上段から再度行ってください。
- 一度入力したセルの内容を消す場合は、消したいセルを選択して **DEL** ボタンにより削除することが可能です。

(オ) 第 1 号様式における留意点

- 表示されている会社名等を確認してください。
- 実績等を申請した項目の自己評価点が 0 点で表示されている場合は、入力シートの記入漏れをもう一度ご確認ください。
- 2 ページ以降の申請内容書は適用（評価対象）となっている項目については、申告する内容が無い場合も含めて、全てのページを A4 サイズで印刷し、証明する資料とともに、綴じ込んで提出してください。2 ページ目以降のとし込み忘れにご注意ください。

(カ) 簡易型・特別簡易型の第 2 号様式「実務経験証明書」における留意点

- この書類は、実務経験で主任技術者となった者を配置し評価を希望する場合に作成し添付してください。国家資格等で主任技術者となった者や監理技術者を配置する場合、あるいは技術者に関する評価項目が適用されていない・評価を希望しない場合は作成不要です。
- 実務経験証明書の記載年月に疑義があると判断した場合は、評価しません。
例① 実務経験証明書の右上の「実務経験のある期間」の記載と下の内訳の記載が不一致の場合。
例② 「実務経験のある期間」は見た目上 10 年以上あるが、内訳の記載月数を合計すると 120 カ月を超えていない場合。

(キ) 標準型・簡易型の第 3 号様式以降の様式における留意点

- 技術資料提出書（第 1 号様式）で適用とされている項目については、必ず提出してください。また、様式の所見欄が未記載の場合は欠格となります。
- 技術資料提出書（第 1 号様式）で不適用（今回工事ではこの項目を適用しません）とされている項目は、記載や提出は不要です。
- 所見欄には、文章だけでなく、写真、図等を記載することができます。
- 用紙のサイズ、枚数の制限にご注意ください。
- 業者コードを表示するようにしています。社名に書き換えしないでください。また、所見欄においてもなるべく社名が表れないように記載してください。

(ク) 標準型・簡易型の第 3 号様式「簡易な施工計画」における留意点

- 時間軸を示す「平成〇〇年〇月」の記入が無い工程表の場合は内容の記載がないものとみなし欠格となります。
- 着手日については、実施要領書「3 実施スケジュール」の評価結果公表日を考慮し、また完了日については、設計図書の工期を越えないようにしてください。契約以前の着手や工期を越える完成となる工程表の場合は欠格となります。
- この第 3 号様式に限り、提出は A4 片面 2 枚、あるいは A3 片面 1 枚とします。

イ 技術資料作成の留意点

(ア) 全般的な注意事項

- a 技術資料の提出は 1 回のみです。提出後の資料の差換え、変更等はできません。また、提出は 1 部としてください。詳細は P17「エ 技術資料のまとめ方」を、ご確認ください。

なお、提出いただいた技術資料は返却しません。

- b 評価は締切日までに提出された技術資料のみで行います。様式の記入漏れ、添付資料不足については十分ご注意ください。

【注意】書類が不備であっても横浜市から入札参加者に対し、問い合わせ等を行うことはありません。

- c 技術資料は指定されたサイズ、枚数内で提出してください。サイズ、枚数の詳細については実施要領書の各様式の欄外に記載してあります。この指定されたサイズ、枚数を超えるものは評価しません。

【例】「A4 片面 1 枚」のようにサイズ・枚数を規定しているにもかかわらず、A4 片面で 2 枚提出された場合、1 枚目を評価し、2 枚目は評価しません。

- d 内容の記載にあたっては、不鮮明な記載、誤字脱字（変換間違い）等が無いように、十分ご注意ください。判読できない場合や、内容が確認できない場合は、評価しないことがあります。また、内容を証明する資料が不足している場合や内容と異なる資料が添付されている場合も評価しません。

【例】評価項目「若手技術者の登用」において、技術者の資格資料と生年月日を証明する資料のどちらかが欠けても評価しません。

- e 添付資料の有効性が疑われると判断した場合や、証明する必要がある内容の確認ができない場合は、評価しません。

【注意】建設機械売買契約書の写しで甲の印が確認できない場合などや、添付資料が特定自主検査記録表のみで所有者が分からない場合などは、評価しません。

- f 適用していない様式や自社が加点とならない項目の添付資料は、提出する必要はありません。

【例 1】様式で「具体的評価項目」欄に「今回工事ではこの項目を適用しません」と記載されているものは提出不要です。

【例 2】「地域精通度・地域密着度」において、主たる営業所の所在地が瀬谷区であれば評価される場合、戸塚区（工事施工場所の行政区以外）の事業者は、建設業の許可通知書の写し等の添付資料を提出する必要はありません。

- g 画面の表示イメージと印刷物のできばえが異なる場合があるので、提出前に記入したものが全て印刷されているか確認してください。必要に応じて行の高さ等を変更し、全てが印刷されるようにしてください。
- h 技術提案及び簡易な施工計画の文章に使用する文字サイズは、10.5 ポイント以上（図表中の文章は除く）としてください。なお、モノクロだけでなくカラーも可とします。
- i 技術提案や簡易な施工計画の具体的評価項目に関する技術資料に記載する提案については、その数に制限はありません。
ただし、技術資料には、実施可能な内容を記載してください。
- j 「企業の施工能力」及び「企業の社会性・信頼性」においては、実績等申告内容を証明する資料の添付を求めています。
第 1 号様式での申請があっても添付資料がない場合、添付資料で実績等が確認できない場合、あるいはその内容に疑義がある場合は該当する実績等を評価しません。

(イ) 入札参加条件が共同企業体（JV）の場合の評価

入札参加条件が JV の場合、JV の代表構成員・代表構成員以外の構成員どちらの実績等について、評価の対象とするかを見極め、書類を添付する必要があります。評価項目により、採点対象が異なります。詳細は、表 6 を参照してください。

a 技術力結集型 JV

技術力結集型 JV とは、技術的難易度が高く大規模な工事について、企業の資本力及び技術力等を結集することを目的とした施工方法です。

優良表彰等の実績の回数を評価する項目については、各企業の実績を合算するのではなく、一社の実績のみを審査対象とします。

b 技術修得型 JV

技術修得型 JV とは、技術的難易度が高い工事について、市内企業への技術移転を目的とした施工方法です。

準市内企業の技術を市内企業に学んでもらうことが目的なので、代表構成員の技術力、資本力に技術力結集型 JV よりも頼った施工となります。よって、原則として**代表構成員の実績等を対象**とします。なお、技術修得型 JV では原則として「災害協力」の項目は、設定していません。

表 6 共同企業体の場合の採点対象

評価項目	具体的評価項目	入札参加者が JV の場合の採点対象	
		(技術力結集型 JV)	(技術修得型 JV)
同種工事の 施工実績	過去 15 年間の同種工事の 施工実績	代表構成員及び出資比 率 10 分の 2 以上の構 成員を対象	代表構成員のみ
工事成績評定点の 実績	過去 2 年間の同一登録工種で の工事成績評定点 80 点以上 の回数	代表構成員、代表構成員 以外の構成員とともに 対象(* 1)	代表構成員のみ
横浜市優良工事 施工会社表彰の 実績	過去 5 年間の同一部門の優良 工事施工会社表彰の回数	代表構成員、代表構成員 以外の構成員とともに 対象(* 1)	代表構成員のみ
配置予定技術者の 施工経験	過去 15 年間の配置予定技術 者の同種工事の施工経験	代表構成員のみ	代表構成員のみ
横浜市優良工事 現場責任者表彰の 実績	配置予定現場代理人の横浜市 優良工事現場責任者表彰の有 無	代表構成員、代表構成員 以外の構成員とともに 対象	代表構成員のみ
若手技術者の登用	入札公告で定める技術者に若 手技術者を配置	代表構成員のみ	代表構成員のみ
品質管理マネジメ ントシステムの 取組状況	横浜市内の事業所を含む範囲 での ISO9001 の登録の有無	代表構成員、代表構成員 以外の構成員とともに 対象	代表構成員のみ
女性技術者の登用	入札公告で定める技術者に女 性技術者を配置	代表構成員のみ	代表構成員のみ
災害協力	横浜市災害協力事業者名簿 登載の有無	代表構成員、代表構成員 以外の構成員とともに 対象	/
環境に対する姿勢	横浜市内の事業所を含む範囲 での ISO14001 の登録の 有無	代表構成員、代表構成員 以外の構成員とともに 対象	代表構成員のみ
男女共同参画及び 女性活躍の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・よこはまグッドバランス賞、 くるみん認定、えるぼし認定 の有無 ・次世代育成支援対策推進法、 女性活躍推進法における 一般事業主行動計画提出義務 がない企業の届け出の有無 	代表構成員、代表構成員 以外の構成員とともに 対象	代表構成員のみ
新たな担い手の育 成 (P47 参照)	「担当技術者」として若手・ 女性を専任配置	代表構成員、代表構成員 以外の構成員とともに 対象	代表構成員、代表 構成員以外の構 成員とともに対象

* 1 いずれか一社の回数のみ対象とします。

ウ 欠格

欠格要件については、実施要領書で定められています。

各要件のいずれかに該当する場合は、欠格とし技術評価は行わず、落札者としません。

標準型でも、基本的には簡易型と同じになります。

特別簡易型では、第 1 号様式に係る要件のみとなります。

(簡易型実施要領書より)

7 欠格要件

「第 1 号様式の提出がないもの」、あるいは提出された技術資料の「第 1 号様式に押印がないもの」は欠格とします。

また、提出された技術資料の簡易な施工計画が、以下の項目に一つでも該当する場合は、不適切な内容とみなし欠格とします。欠格の場合、技術評価点を計算せず、落札者としません。

(1) 内容の記載がないもの。(工程管理に係る技術的所見にあっては、工程表と技術的所見のいずれか)

【説明】

指定(適用)されている「簡易な施工計画」への記載漏れにご注意ください。内容の記載がない場合は欠格となります。(様式が提出されても、内容の記載がない場合は欠格となります。)

(2) 必要な様式の提出がないもの。

【説明】

指定されている「簡易な施工計画」の提出漏れにご注意ください。提出がない場合は欠格となります。(「企業の施工能力」、「企業の社会性・信頼性」の提出がない場合は、欠格ではなく該当する評価項目を評価しません。)

(3) 関係法令等に抵触する恐れがあるもの。

【説明】

「簡易な施工計画」の内容が関係法令に抵触しないよう、十分ご検討ください。抵触する恐れがある場合は欠格となります。

(4) 工事請負契約約款の内容、設計図書の要件(工期、仕様等)を満たしていないもの。

【説明】

「簡易な施工計画」の内容が、その工事に適用されている仕様書(土木工事共通仕様書等)を満たしていない提案は欠格となります。また、工程表については、実施要領書や設計図書で指定している工期を逸脱しないように記載してください。着手日が評価結果公表日より早い場合や、完成日が指定された工期を過ぎている場合は、「設計図書の要件を満たしていない」として欠格となります。着手日については、評価結果公表日を参考に設定してください。

(5) 無関係な事項のみが記載されているもの。

【説明】

「簡易な施工計画」の記載内容に、指定した具体的評価項目と無関係な事項のみが記載されている場合は、欠格となります。

(6) 「4 技術資料の具体的評価項目と用語の定義」で指定した具体的評価項目を変更しているもの。

【説明】

「簡易な施工計画」の本市が設定した具体的評価項目を変更しないでください。変更している場合は、欠格となります。

工 技術資料のまとめ方

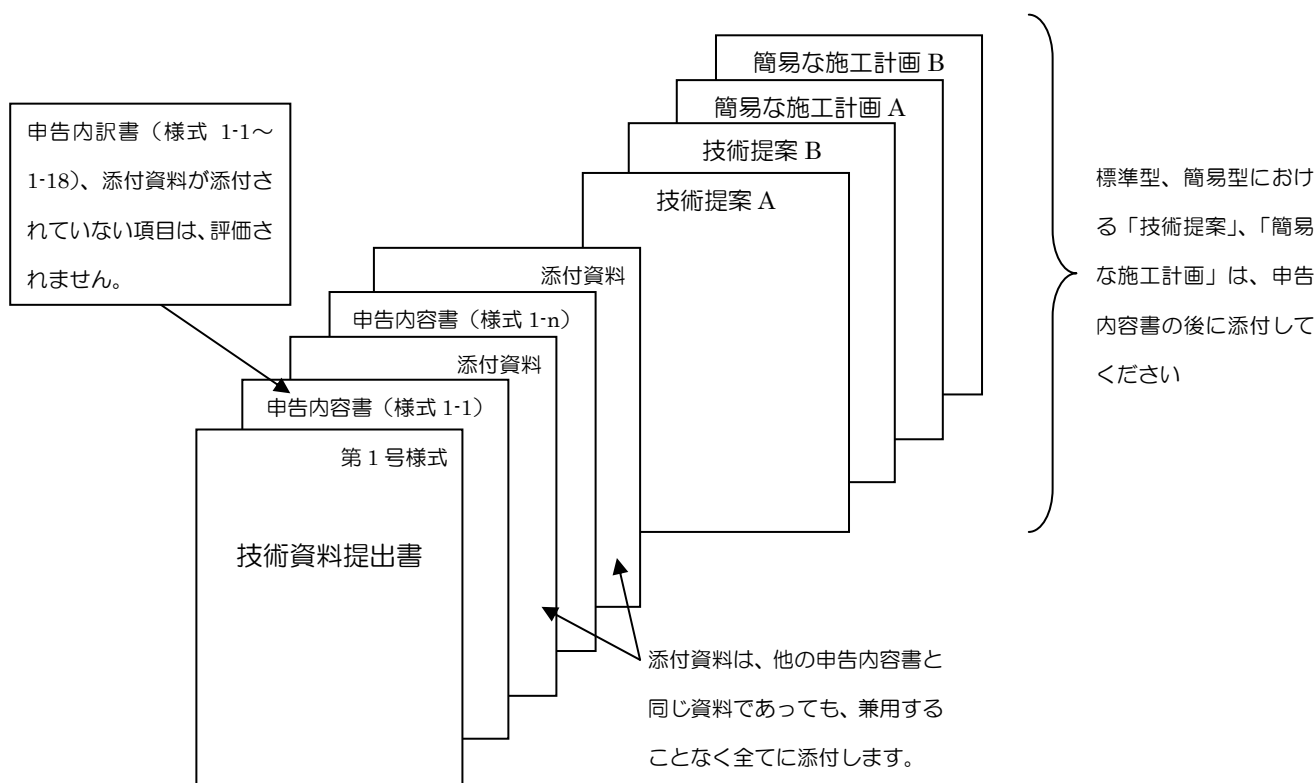
提出する技術資料は、技術資料提出書（第 1 号様式）を表紙として、以下に評価適用（評価対象）となっている項目の申告内訳書（様式 1-1～1-18）と、申告内訳書毎にその添付資料をまとめて添付します。

標準型・簡易型において、技術提案（第 9 号様式 以降）・簡易な施工計画書（第 3～8 号様式）を添付する場合は、申告内容書の後に添付します。

各申告内容書とそれに対応する添付資料、技術提案・簡易な施工計画書は、下図を参照しホチキス等で確実にまとめて下さい。

申告内容書、添付資料並びに技術提案・簡易な施工計画書の添付が無い場合は、評価されないので注意してください。

なお、この実施要領書及び適用されていない評価項目の申告内容書、添付資料並びに技術提案・簡易な施工計画書は、技術資料に添付する必要がありません。



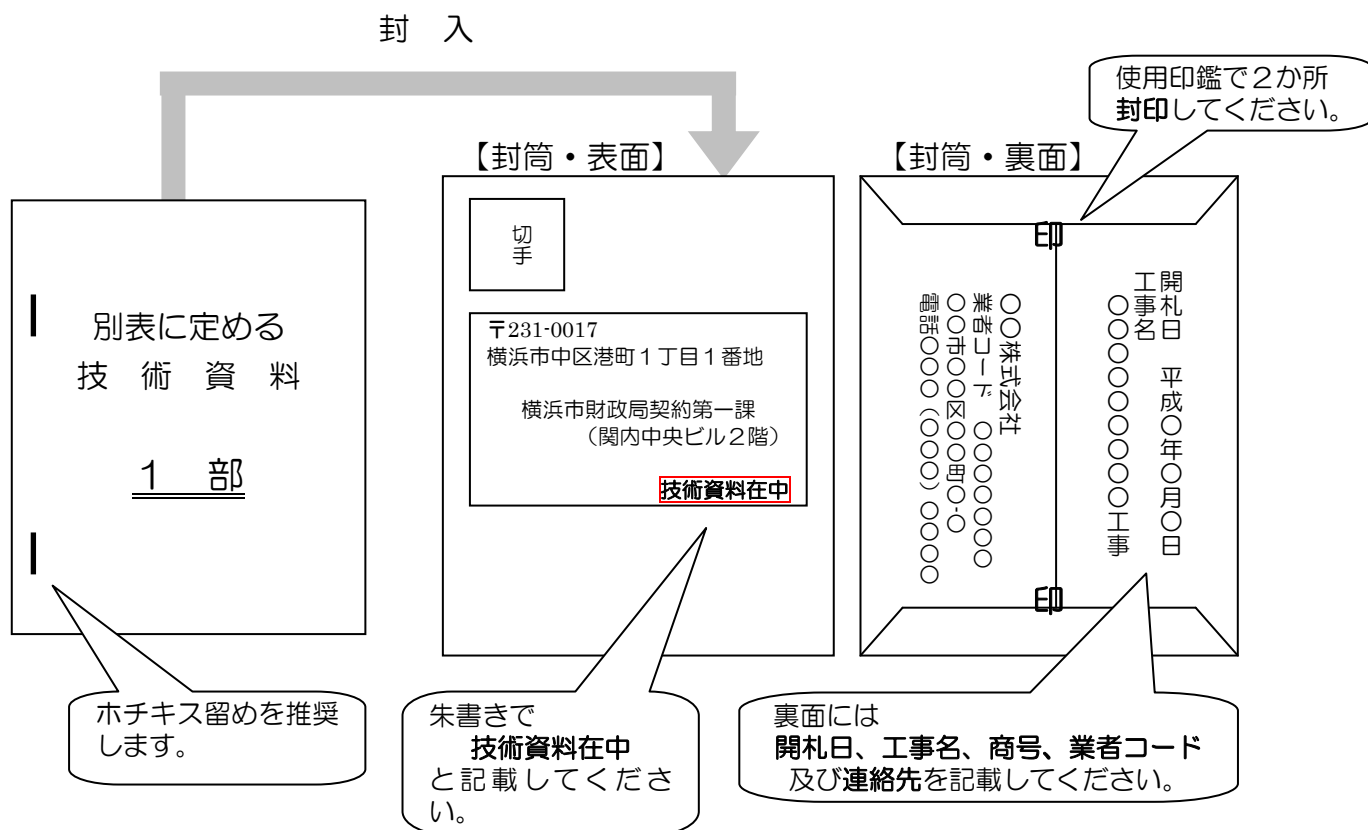
(5) 技術資料の受付・入札

入札参加者は、実施要領書で定める技術資料を封筒に入れ封印し、技術資料の受付期間（入札期間）内に、財政局契約第一課に郵送又は持参により提出してください。

なお、提出後の技術資料の変更及び追加は、技術資料の受付期間（入札期間）内であっても認められません。

技術資料は下記の要領でご提出ください。

なお、封筒サイズの指定はありません。



(6) 技術資料の審査・技術評価点の算出

ア 技術提案及び施工計画等の評価方法の考え方

技術提案及び施工計画等は、評価項目の特性を踏まえ点数化して評価しますが、点数化の基本的な考え方は、次のとおりです。

(ア) 評価項目の性能等の数値により点数化する方法

評価項目の性能等が数値化できる場合の評価方法です。

この場合、標準的には、提示された最高の性能等の数値に評価点の満点、最低限の要求要件を満たす性能等の数値に0点を付与し、中間の性能等は、その性能の程度により点数を付与します。

また、要求要件を満たさない場合は「欠格」とします。

(イ) 数値化が困難な評価項目を点数化する方法

数値化が困難な評価項目の性能等に関して、数段階に判定する基準を設け、入札参加者ごとの評価に応じた点数を付与する評価方法です。

例えば、4段階（優／良／可／欠格）で評価を行う場合には、評価基準で満点には“優”、満点の1/2～1/3程度の点には“良”、良以下の点は“可”として0点、不適切なものについては「欠格」とします。



評価項目のうち 1 つでも「評価基準」が「欠格」に評価された場合、当該工事の要求水準を満たしていないと判断し、技術評価点を計算せず、当該入札者を落札者としません。

(7) 開札・評価値の算出

ア 落札者の決定方法

技術評価点の算出後に開札し、P1「3 基本的運用（1）落札者決定の概要」に記載の方法によって、評価値を算出します。

評価値の算出にあたり、入札価格が調査基準価格を下回った場合には、入札価格を調査基準価格*として評価値を算定し、評価値が最も高い企業を落札者とし、評価値が最も高い企業が2社以上あった場合は、くじ引きで落札者を決定します。

なお、契約は入札した価格で行います。

※ 調査基準価格

調査基準価格は、予定価格算出の基礎とした設計書等に基づき算出する額です。詳細は、「横浜市工事請負契約に係る低入札価格取扱要綱」をご参照下さい。

横浜市→ヨコハマ・入札のとびら→入札・契約関係規程（財政局所管）

(ア) 入札価格が調査基準価格以上の場合

技術評価点 = 標準点（100点）+加算点

評価値 = 技術評価点 ÷ 入札価格

計算例

例 1 入札価格が調査基準価格以上の例

調査基準価格 : 65,000,000円

入札価格 : 67,800,000円

加算点 : 8点

評価値 = ((100点+8点) ÷ (67,800,000 ÷ 100,000,000))
= 159.2920

(イ) 入札価格が調査基準価格を下回った場合

技術評価点 = 標準点（100点）+加算点

評価値 = 技術評価点 ÷ 調査基準価格

例 2 特別簡易型の入札価格が調査基準価格を下回った場合の例

調査基準価格 : 65,000,000 円

入札価格 : 63,000,000 円

加算点 : 15 点 → $15 - 5^* = 10$ 点

$$\begin{aligned} \text{評価値} &= ((100 \text{ 点} + 10 \text{ 点}) \div (65,000,000 \div 100,000,000)) \\ &= 169.2307 \end{aligned}$$

※評価項目「低入札価格での入札」が適用されている工事で、調査基準価格未満で入札が行われた場合に、技術評価点を 5 点減点します。

(8) 入札参加資格確認資料の受付・審査

評価値が最も高い者に入札参加資格確認資料の提出を求め、入札参加資格の確認を行います（評価値が最も高い者が失格の場合、評価値の順位に従い同様に事務を行います）。

入札参加資格確認資料提出時に、技術資料に記載した「配置予定技術者」の変更が可能です。

この時、技術資料の再提出及び評価点の再評価は、行いません。

ただし、変更した「配置技術者」の評価点が減点になる場合は、ペナルティの対象となりますので、注意してください。

なお、評価点の確認は、「(12) 技術提案の履行状況の確認」時に行います。

(9) 低入札価格調査

低入札価格で契約を締結する場合の条件及び工事完成後に行う調査の方法等については、「横浜市工事請負契約に係る低入札価格取扱要綱」を参照してください。

(10) 落札者の決定・契約・評価結果の公表

落札者を決定し、入札参加者の評価結果が横浜市ホームページ内、「ヨコハマ・入札のとびら」で公表されます。

(11) 工事着手

工事契約に基づき、工事に着手します。

(12) 技術提案の履行状況の確認

総合評価落札方式では、提出した技術資料を評価して契約を行うため、工事の各段階でその内容が履行されていることの確認があります。

以下に各段階での主な確認事項を記載しますので、参考にしてください。

ア 工事着手段階

配置技術者、担当技術者（若手、女性）、提案項目簡易な施工計画の履行確認など、配置技術者が配置予定技術者と異なる場合は、加点状況を確認します。

配置予定技術者と同一条件で加点される技術者であれば、変更に伴うペナルティはありません。減点の場合は、下記「エ 技術提案・施工計画等が履行できなかった場合等のペナルティ」を参照してください。

- イ 施工段階
提案項目の履行確認など
- ウ 完成段階
市内経済への貢献（一次下請の市内企業活用度）の履行確認など
- エ 技術提案・施工計画等が履行できなかった場合等のペナルティ
総合評価落札方式では、技術提案・施工計画等の実効性の確保や競争入札の公平性が担保される必要があります。そのため、技術提案・施工計画等が実施できないことが判明した場合、下記ペナルティを課します。

(ア) 入札参加者の技術資料の虚偽記載等明らかに悪質な行為があった場合には、横浜市指名停止等措置要綱に基づく指名停止等を行います。

(イ) 落札者の技術提案等が達成されなかったときは、自然災害等の不可抗力による場合を除き、履行した内容に基づく技術評価点を再度算出した後、評価値が落札決定時と同一になるよう価格を再計算し、当該価格と入札価格の差額を違約金として徴収します。

具体的には、次の式により算定した額に、取引に係る消費税及び地方消費税相当額を加えた額を徴収します。

$$A - \frac{(B + C 2)}{(B + C 1)} \times A$$

ただし

A : 当初の入札金額

B : 標準点 (100)

C1 : 入札時の提案内容にもとづく加算点

C2 : 提案内容を実施できなかった場合の加算点

計算の過程では、小数点以下第 4 位未満を切り捨てます。

違約金は、円未満を切り捨てます。

5 評価項目に関する運用及び留意事項

(1) 同種工事の施工実績

評価内容	過去 15 年間の同種工事の施工実績を評価します。	
	評価基準	配点
元請として対象期間内に完成した本市発注の同種工事の施工実績がある。		4
元請として対象期間内に完成した本市発注以外の同種工事の施工実績がある。		2
同種工事の施工実績なし		0
<p>評価に関する運用事項</p> <p>(1) 過去 15 年間とは、入札期間最終日を基準として直前 15 か年度前の 4 月 1 日から技術資料提出日までに、元請として完成（引き渡し完了）した工事を評価対象とします。</p> <p>(2) 本市発注の同種工事には、水道局、交通局及び医療局病院経営本部（旧病院経営局）発注の工事を含まれます。なお公社等の外郭団体が発注した工事は含まれません。</p> <p>(3) 本市発注以外の同種工事における対象機関は特に定めていません。</p> <p>(4) 同種工事は、工事毎に示す「総合評価落札方式実施要領書」により提示します。同種工事の条件は一件の工事で満たすこととしています。複数件の工事を合算することはできません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【例】同種工事が 1000m²以上の工事と指定されている場合で、500m²と 600m²の 2 件の実績を添付した場合、1 件の工事では条件を満たしていないため評価しません。</p> </div> <p>ただし、合併工事については、合算して 1 本の工事実績として評価出来ます。なお、工事成績評定についてはそれぞれに発行されているため、別々に評価出来ます。</p> <p>(5) 企業が合併した場合は、合併前のそれぞれに企業の実績を評価対象とします。</p> <p>(6) 共同企業体の構成を要件とする発注の場合、評価対象となる企業については、P14（イ）入札参加条件が共同企業体（JV）の場合の評価を参照してください。</p> <p>(7) 技術力結集型共同企業体による施工実績については、出資比率 20%以上の構成員に限り評価対象とします。この場合は実績を証明する資料の一部として、出資比率を証明する書類（JV協定書の写し等）を合わせて提出してください。</p>		

技術資料作成時の注意点（入力シート記入の注意点）**（1）【工事名】**

工事名は添付する資料で確認します。

（2）【添付資料名】

施行実績を証明する資料名はプルダウンリストから選択して入力します。

（3）【その他の資料名】

【添付資料名】欄で「その他の資料」を選択した場合に記入します。

（4）その他の資料を申請する場合は、技術資料に関する質問期限までに質問書により添付資料が当該工事で有効か確認してください。従前に他の工事で確認してあっても、必ず確認が必要です。

（5）未確認の資料を添付した場合は、評価対象となりません（この項目は0点）

添付資料の注意点

工事名称や工事内容が確認できる資料を添付します。

（1） コリンス登録があり、登録情報で施工実績が証明できる場合は、「コリンス登録内容確認書の写し」又は「工事カルテ受領書」の写しを添付します。

（2） コリンス登録情報では施工実績が証明出来ない場合又は民間工事の場合は、「契約書の写し（同種工事であることが証明できる設計書、工事内訳明細書、平面図等を含む。）」を添付します。

（3） 上記以外の資料で実績を証明する場合は、技術資料に関する質問期限までに質問書により添付資料が当該工事で有効か確認してください。従前に他の工事で確認してあっても、必ず確認が必要です。

（4） 未確認の資料を添付した場合は、評価対象となりません（この項目は0点）

（5） JV 協定書の写し等（出資比率の証明）（共同企業体による施工実績の場合）

(2) 工事成績評定点の実績

評価内容	過去 2 年間の同一登録工種工事での工事成績評定点 80 点以上の回数を評価します。	
	評価基準	配点
	本市発注工事において対象期間内に完成した工事成績評定点 80 点以上の同一登録工種工事が 2 件以上ある。	4
	本市発注工事において対象期間内に完成した工事成績評定点 80 点以上の同一登録工種工事が 1 件ある。	2
	該当なし	0
評価に関する運用事項		
<p>(1) 過去 2 年間とは、工事検査結果通知の受け渡し期間を考慮し、入札期間最終日の 3 か月前の月末から起算して、過去 2 4 か月間に完成した工事成績を評価対象とします。 例 入札期間最終日：平成 29 年 6 月 評価期間：平成 27 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで</p> <p>(2) 本市発注工事には、水道局、交通局及び医療局病院経営本部（旧病院経営局）発注の工事を含みます。なお、公社等の外郭団体が発注した工事は含みません。</p> <p>(3) 同種工事は、工事毎に示す「総合評価落札方式実施要領書」により提示します。</p> <p>(4) 工事成績評定点の実績は 80 点以上の回数を評価しています。点数が高ければより高得点を得られるということはありません。</p> <p>(5) 共同企業体による工事成績評定実績については、出資比率に関係なく全て評価対象とします。</p> <p>(6) 企業が合併した場合は、合併前のそれぞれに企業の実績を評価対象とします。</p> <p>(7) 共同企業体の構成を要件とする発注の場合に、評価対象となる企業については、P14 (イ) 入札参加条件が共同企業体 (JV) の場合の評価を参照してください。</p>		
技術資料作成時の注意点（入力シート記入の注意点）		
<p>(1) 【80 点以上の実績】 対象期間内に完成した本件工事と同一登録工種である本市発注工事（※2）の工事完成検査結果通知書の評定点が 80 点以上の実績について、プルダウンリストで選択して入力します。同一登録工種の確認は、横浜市ホームページで行ってください。 横浜市→ヨコハマ・入札のとびら→入札・契約情報→入札・契約結果</p> <p>(2) 【添付資料名】 80 点以上の実績欄の選択により、自動表示（入力）されます。</p>		
添付資料の注意点		
<p>(1) 対象となる「工事完成検査結果通知書の写し」添付します。</p> <p>(2) 実績件数が 2 件以上の場合は 2 件分の「工事完成検査結果通知書の写し」を添付します。</p>		

(3) 横浜市優良工事施工会社表彰の実績

評価内容	過去 5 年間に於ける優良工事施工会社表彰の回数を評価します	
評価基準		配点
対象期間内に、本件工事と同一部門で横浜市優良工事施工会社表彰を 2 回以上受けている。	4	
対象期間内に、本件工事と同一部門で横浜市優良工事施工会社表彰を 1 回受けている。	2	
該当なし	0	
<p>評価に関する運用事項</p> <p>(1) 「過去5年間」とは、入札期間最終日を基準として、5年前の年度表彰名簿から評価対象とします。 例 入札期間最終日 平成29年6月4日 評価対象 平成24年度から28年度までの5回分の名簿登載事業者</p> <p>(2) 優良工事表彰式は、通常10月末に開催され表彰名簿を公表しています。このため、工事発注当該年度の表彰名簿公表以降については、6回分の名簿が評価対象となります。 例 入札期間最終日 平成29年12月4日 評価対象 平成24年度から29年度までの6回分の名簿登載事業者</p> <p>(3) 加点対象になる表彰部門は、工事毎に示す「総合評価落札方式実施要領書」により提示します。</p> <p>(4) 企業が合併した場合は、合併前のそれぞれに企業の実績を評価対象とします。</p> <p>(5) 共同企業体の構成を要件とする発注の場合、評価対象となる企業については、P14 (イ) 入札参加条件が共同企業体 (JV) の場合の評価を参照してください。</p>		
<p>技術資料作成時の注意点 (入力シート記入の注意点)</p> <p>(1) 【受賞状況】 対象期間内に、本件工事と同一部門での横浜市優良工事施工会社表彰の受賞状況をプルダウンリストから選択して入力します。</p> <p>(2) 【表彰年度欄】 受賞が1回の場合は 表彰1 欄に受賞年度を記入します。受賞が2回以上の場合、表彰1 及び表彰2 に各受賞年度を入力します。</p>		

添付資料

- (1) 対象となる「優良工事施工会社表彰の表彰状写し（A4 に縮小）」を添付します。
- (2) 表彰状写しの添付が困難な場合は、横浜市ホームページに掲載されている「横浜市優良工事施工会社名簿の該当するページ」を印刷して添付します。この時、対象となる会社名が分かるよう、会社名にアンダーラインをいれるなどします。

横浜市優良工事表彰ホームページ

財政局＞公共施設・事業調整課＞優良工事表彰

<http://www.city.yokohama.lg.jp/zaisei/org/kokyo/hyousyou/>

(4) 配置予定技術者の施工経験

評価内容	配置予定技術者が有する過去 15 年間の同種工事の施工経験を評価します。	
	評価基準	配点
	対象期間に完成した、本市発注工事における元請の主任（監理）技術者又は現場代理人いずれかとして同種工事の施工経験がある。	4
	対象期間に完成した、本市発注以外の工事において元請の主任（監理）技術者又は現場代理人いずれかとして同種工事の施工経験がある。	2
	該当なし	0
評価に関する運用事項		
<p>(1) 過去 15 年間とは、入札期間最終日を基準として直前 15 か年度前の 4 月 1 日から技術資料提出日までに、元請として完成（引き渡し完了）した工事の施工経験を評価対象とします。</p> <p>(2) 本市発注工事には、水道局、交通局及び医療局病院経営本部（旧病院経営局）発注工事を含みます。なお、公社等の外郭団体が発注した工事は含みません。</p> <p>(3) 本市発注以外工事における対象機関は特に定めません。</p> <p>(4) 同種工事は、工事ごとに示す「総合評価落札方式実施要領書」により提示します。</p> <p>(5) 元請の主任（監理）技術者又は現場代理人のいずれかにより従事した同種工事の施工経験を評価します。</p> <p>(6) 共同企業体の構成を要件とする発注の場合、評価対象となる企業については、P14（イ）入札参加条件が共同企業体（JV）の場合の評価を参照してください。</p>		
技術資料作成時の注意点（入力シート記入の注意点）		
<p>(1) 【施工経験】 配置予定技術者の施工経験をプルダウンリストから選択して入力します。</p> <p>(2) 【工事名】 工事名は添付する資料で確認します。</p> <p>(3) 【技術者区分及び氏名】 実績がある場合は、入力シート 1（基本情報）の配置予定技術者の資格及び氏名が自動的に表示（入力）されます。</p> <p>(4) 【添付資料名】 施工経験がある場合は、添付資料名 1、添付資料名 2、添付資料名 3 の 3 箇所に必ずプルダウンリストから選択して入力します。</p>		

添付資料の注意点**(1) 【同種工事である証明書類】**

- コリンズ登録があり、登録情報で施工実績が証明できる場合は、「コリンズ登録内容確認書の写し」、「工事カルテ受領書の写し」又は「技術者実績確認書の写し」を添付します。
- コリンズ登録情報では施工実績が証明出来ない場合又は民間工事の場合は、「契約書（同種工事であることが証明できる設計書、工事内訳明細書、平面図等を含む。）の該当部分」の写しを添付します。

(2) 【技術者が従事した証明資料】

- コリンズ登録があり、登録情報で当該工事への従事が証明できる場合は、「コリンズ登録内容確認書の写し」、「工事カルテ受領書の写し」又は「技術者実績確認書の写し」を添付します。
- コリンズ登録情報では従事実績が証明出来ない場合は、「当該工事への従事を証明する氏名及び従事役職が記載されている施工体系図の写しの該当部分の写し」を添付します。

(3) 【同種工事である証明書類】と【技術者が従事した証明資料】が同じ資料の場合は 1 枚を添付してください。

(4) 【配置予定技術者の資格証明】

• 監理技術者の場合

「監理技術者資格者証の写し」及び「監理技術者講習修了証又は講習修了履歴の写し」

• 主任技術者の場合

国家資格等により資格を取得した場合は、「主任技術者となり得る国家資格等の合格証明書等の写し」

実務経験により資格を取得した場合

ア 別紙 2 号様式の「実務経験証明書、卒業証明書（資格証明の必要に応じて添付）」の写し。

イ 経営事項審査申請における技術職員名簿の写しでも可とします（工種に注意）。

(5) JV 協定書の写し等（出資比率の証明）

(5) 配置予定現場代理人の横浜市優良工事現場責任者表彰の実績

評価内容	配置予定現場代理人の過去 5 年間に於ける横浜市優良工事現場責任者表彰受賞状況を評価します	
	評価基準	配点
	対象期間内に、配置予定現場代理人が本件工事と同一部門で横浜市優良工事現場責任者表彰を受けている。	2
	該当なし	0
評価に関する運用事項 (1) 「過去 5 年間」とは、入札期間最終日を基準として、5 年前の年度表彰名簿から評価対象とします。 例 入札期間最終日 平成 29 年 6 月 4 日 評価対象 平成 24 年度から 28 年度までの 5 回分の名簿掲載事業者 (2) 優良工事表彰式は、通常 10 月末に開催され表彰名簿を公表しています。このため、工事発注当該年度の表彰名簿がされた以降については、6 回分の名簿が評価対象となります。 例 入札期間最終日 平成 29 年 12 月 4 日 評価対象 平成 24 年度から 29 年度までの 6 回分の名簿掲載事業者 (3) 加点対象になる表彰部門は、工事毎に示す「総合評価落札方式実施要領書」により提示します。 (4) 共同企業体の構成を要件とする発注の場合、評価対象となる企業については、P14 (イ) 入札参加条件が共同企業体 (JV) の場合の評価を参照してください。		
技術資料作成時の注意点 (入力シート記入の注意点) (1) 【表彰の実績】 配置予定現場代理人の横浜市優良工事現場責任者表彰の実績をプルダウンリストから選択して入力します。 (2) 【配置技術者区分】 配置する主任技術者、監理技術者の区分をプルダウンリストから選択して入力します。 (3) 【技術者氏名】 「配置技術者区分」の選択により基本情報入力シートの配置予定技術者一覧から技術者氏名を自動表示 (入力) されます。		

添付資料の注意点

- (1) 「表彰状写し」を添付します。
- (2) 表彰状写しの添付が困難な場合は、「横浜市ホームページに掲載されている横浜市優良工事現場責任者表彰名簿の該当するページ」を印刷して添付します。この時、対象となる氏名が分かるよう、氏名欄にアンダーラインをいれるなどします。

なお、表彰対象者の希望により、個人情報保護の関係から名簿に氏名を登載せず、他〇名と表記している場合があります。その場合は、他〇名にアンダーライン等を付してください。本市保管の名簿で確認を行います。

横浜市優良工事表彰ホームページ

財政局>公共施設・事業調整課>優良工事表彰

<http://www.city.yokohama.lg.jp/zaisei/org/kokyo/hyousyou/>

(6) 若手技術者の登用

評価内容	入札公告で定める技術者に若手技術者を配置することを評価します。	
	評価基準	配点
	入札公告で定める技術者に若手技術者を配置する。	2
	入札公告で定める技術者に若手技術者を配置しない。	0
評価に関する運用事項		
<p>(1) 評価項目「若手技術者の登用」では、入札公告で定める配置予定技術者として若手技術者を配置する場合を評価するものです。</p> <p>若手技術者とは下記①及び②を同時に満たすものを指します。</p> <p>①入札公告で定める技術者</p> <p>②入札期間の最終日において満年齢40歳未満の者</p> <p>(2) 共同企業体の構成を要件とする発注の場合、評価対象となる企業については、P14 (イ) 入札参加条件が共同企業体 (JV) の場合の評価を参照してください。</p>		
技術資料作成時の注意点 (入力シート記入の注意点)		
<p>(1) 【若手技術者の配置】</p> <p>配置予定技術者に若手技術者を配置するかについてプルダウンリストから選択して入力します。</p> <p>(2) 【技術者区分及び氏名】</p> <p>実績がある場合は、入力シート1 (基本情報) の配置予定技術者の資格及び氏名が自動的に表示 (入力) されます。</p> <p>(3) 【添付資料1】</p> <p>「監理技術者または主任技術者を証明する資料」をプルダウンリストから選択し添付します。</p> <p>(4) 【添付資料2】</p> <p>「生年月日が記載されている証明資料」をプルダウンリストから選択し添付します。</p>		

添付資料の注意点**【配置予定技術者の資格証明】****(1) 監理技術者の場合**

「監理技術者資格者証の写し」及び「監理技術者講習修了証又は講習修了履歴の写し。」

(2) 主任技術者の場合

国家資格等により資格を取得した場合は、「主任技術者となり得る国家資格等の合格証明書等の写し」。

実務経験により資格を取得した場合は、別紙 2 号様式の「実務経験証明書」、「卒業証明書（資格証明の必要に応じて添付）の写し」。

経営事項審査申請における「技術職員名簿の写し」でも可とします（工種に注意）。

(3) 年齢を証明する資料

生年月日が証明できる資料を必ず添付すること。

「健康保険証、パスポート、監理技術者証、監理技術者講習修了証、住民基本台帳カードの写し、運転免許証の写し」。

住所や個人番号など証明に不要な情報は塗りつぶしなどを行ってください。

(7) 品質管理マネジメントシステムの取組状況

評価内容	品質管理マネジメントシステム(ISO9001)の取得状況を評価します。	
	評価基準	配点
	ISO9001 を横浜市内の事業所を含む範囲で登録している。	2
	登録していない。	0
評価に関する運用事項 (1) 横浜市内の事業所を含む範囲で ISO9001 登録をしている企業を評価します。 (2) 評価基準日は入札期間最終日の時点で有効なものとしします。 (3) 共同企業体の構成を要件とする発注の場合、評価対象となる企業については、 P14 (イ) 入札参加条件が共同企業体 (JV) の場合の評価を参照してください。		
技術資料作成時の注意点 (入力シート記入の注意点) (1) 【登録状況】 ISO9001 登録の状況をプルダウンリストから選択し入力します。 (2) 【添付資料】 登録しているを選択した場合、自動で表示 (入力) されます。		
添付資料の注意点 (1) 「ISO9001 登録証の写し」及び「横浜市内の事業所を含む範囲で登録していることが確認できる付属書等の写し」を添付します。		

(8) 女性技術者の登用

評価内容	入札公告で定める技術者に女性技術者を配置することを評価します。	
	評 価 基 準	配 点
	入札公告で定める技術者に女性技術者を配置する。	2
	入札公告で定める技術者に女性技術者を配置しない。	0
評価に関する運用事項 (1) 評価項目「女性技術者の登用」では、入札公告で定める配置予定技術者として女性技術者を配置する場合を評価するものです。 女性技術者とは下記①及び②を同時に満たすものを指します。 ①入札公告で定める技術者 ②女性であること。 (2) 共同企業体の構成を要件とする発注の場合、評価対象となる企業については、P14 (イ) 入札参加条件が共同企業体 (JV) の場合の評価を参照してください。		
技術資料作成時の注意点 (入力シート記入の注意点) (1) 【女性技術者の配置】 配置予定技術者に女性技術者を配置するかについてプルダウンリストから選択して入力します。 (2) 【技術者区分及び氏名】 実績がある場合は、入力シート1 (基本情報) の配置予定技術者の資格及び氏名が自動的に表示 (入力) されます。 (3) 【添付資料1】 「監理技術者または主任技術者を証明する資料」をプルダウンリストから選択し添付します。 (4) 【添付資料2】 「性別が記載されている証明資料」をプルダウンリストから選択し添付します。		

添付資料の注意点

【配置予定技術者の資格証明】

(1) 監理技術者の場合

「監理技術者資格者証の写し」及び「監理技術者講習修了証又は講習修了履歴の写し」

(2) 主任技術者の場合

国家資格等により資格を取得した場合は、「主任技術者となり得る国家資格等の合格証明書等の写し」

なお、実務経験により資格を取得した場合は、別紙 2 号様式の「実務経験証明書、卒業証明書（資格証明の必要に応じて添付）」の写し。

経営事項審査申請における技術職員名簿の写しでも可とします（工種に注意）。

(3) 性別が確認できる資料

性別が確認できる資料を必ず添付すること。

「健康保険証、パスポート、住民基本台帳カードの写し」

住所や個人番号など証明に不要な情報は塗りつぶしなどを行ってください。

(9) 地域精通度・地域との密着度

評価内容	工事施工場所と建設業の許可における主たる営業所の所在地の位置関係进行评估します。	
	評価基準	配点
工事施工場所と同一行政区内に建設業の許可における主たる営業所がある。		2 (4)
上記以外		0
評価に関する運用事項 (1) 工事施工場所と建設業の許可における主たる営業所の所在地が同一行政区の位置関係にある事を評価します。 (2) 評価基準日は、入札期間最終日の時点で有効な登録とします。 (3) 評価配点は2点ですが、土木管内舗装補修（応急修理）工事については、4点とします。		
技術資料作成時の注意点（入力シート記入の注意点） (1) 【営業所所在地】 建設業の許可における主たる営業所の所在地をプルダウンリストから選択して入力します。 (2) 【添付資料】 同じ行政区を選択した場合は、所在地を証明する資料をプルダウンリストから選択して入力します (3) 【その他資料名】 その他資料を選択した場合に、資料名を直接入力します。		
添付資料の注意点 (1) 主たる営業所の所在地を証明する資料として「建設業の許可通知書」の写しまたは「建設業許可証明書」を添付します。 (2) 上記以外の資料を添付する場合は、従前の工事で有効を確認した資料でも必ず技術資料に関する質問期限日までに質問書により添付資料が今回工事で有効か確認してください。 (3) 未確認の資料を添付した場合は、評価対象となりません（この項目は0点）		

(10) 災害協力

評価内容	横浜市災害協力事業者名簿登載の状況进行评估します。	
	評価基準	配点
	最新の横浜市災害協力事業者名簿に登録がある。	2
	最新の横浜市災害協力事業者名簿に登録がない。	0
評価に関する運用事項 (1) 最新の横浜市災害協力事業者名簿に登録がある企業进行评估します。 (2) <u>入札公告日</u> の時点で有効な登録とします。 (3) 共同企業体の構成を要件とする発注の場合、評価対象となる企業については、 P14 (イ) 入札参加条件が共同企業体 (JV) の場合の評価を参照してください。		
技術資料作成時の注意点 (入力シート記入の注意点) (1) 【名簿の登録状況】 最新の横浜市災害協力事業者名簿の登録状況をプルダウンリストから選択して入力します。		
添付資料の注意点 (1) 横浜市ホームページに掲載されている「横浜市災害協力事業者名簿の該当するページ」を印刷して添付します。この時、対象となる会社名が分かるよう、 <u>会社名にアンダーラインをいれる</u> などします。 (2) 横浜市災害協力事業者名簿は10月1日頃に更新されますので、注意してください。 横浜市災害協力事業者名簿 横浜市>ヨコハマ・入札のとびら>入札・契約情報>有資格者名簿検索(工事) http://keiyaku.city.yokohama.lg.jp/epco/keiyaku/meibo.html		

(11) 環境に対する姿勢

評価内容	環境マネジメントシステム(ISO14001)の取得状況を評価します。	
	評価基準	配点
	ISO14001 を横浜市内の事業所を含む範囲で登録している。	2
	登録していない。	0
評価に関する運用事項 (1) 横浜市内の事業所を含む範囲で ISO14001 登録をしている企業を評価します。 (2) 評価基準日は入札期間最終日の時点で有効な登録とします。 (3) 共同企業体の構成を要件とする発注の場合、評価対象となる企業については、 P14 (イ) 入札参加条件が共同企業体 (JV) の場合の評価を参照してください。		
技術資料作成時の注意点 (入力シート記入の注意点) (1) 【登録状況】 ISO14001 登録の状況をプルダウンリストから選択し入力します。 (2) 【添付資料】 登録しているを選択した場合、自動で表示 (入力) されます。		
添付資料の注意点 (1) 「ISO14001 登録証の写し」及び「横浜市内の事業所を含む範囲で登録していることが確認できる付属書等の写し」を添付します。		

(12) 市内経済への貢献

評価内容	本工事における市内中小企業の活用状況を評価します。	
評 価 基 準		配 点
市内中小企業の活用目標値が指定した率以上である。		4
市内中小企業の活用目標値が指定した範囲内の率である。		2
市内中小企業の活用目標値が指定した率未満である。		0
<p>評価に関する運用事項</p> <p>(1) 本項目は、契約後の労務を伴う一次下請負契約について、市内中小企業への発注割合の目標値を評価します。</p> <p>(2) 目標値の算定方法は下記によります。 [市内中小企業への一次下請金額] ÷ [一次下請全体額] …小数点以下切捨て ※一次下請金額は労務を伴うもののみを対象として算定</p> <p>(3) 工事完成検査時に、最終の施工体制台帳・施工体系図の記載に基づき、一次下請け全体額における市内中小企業の割合を求めて履行結果を確認します。</p> <p>(4) 評価基準を下回る実施結果となった場合は「技術提案等が達成されなかったときの取扱」の対象となります。</p>		
<p>技術資料作成時の注意点 (入力シート記入の注意点)</p> <p>(1) 【活用目標値】本工事における一次下請負契約のうち、市内中小企業への発注割合の目標値をプルダウンリストから選択して入力します。</p> <p>添付資料の注意点</p> <p>(1) 添付する資料はありません。</p>		

市内企業の活用度

「市内企業の活用度」は、本工事における市内中小企業の活用状況を評価するので、技術資料提出時には「活用の予定」を申告していただくことになります。履行結果の確認原則は、工事完成検査時に、最終の施工体制台帳・施工体系図の記載に基づき一次下請け全体額における市内企業の割合を求めて行います。評価基準を下回る実施結果となった場合は、実施要領書本文 12「技術提案等が達成されなかったときの取扱」の対象となるので確度を十分に考慮の上で申告してください。

市内中小企業とは、下記条件①及び②を同時に満たす企業を指します。

- ①登記簿上の本店所在地及び建設業の許可における主たる営業所の所在地が共に横浜市内である
- ②払込資本金が 3 億円以下である、又は従業員数が 300 人以下である
(払込資本金は登記簿上の記載数値とします)
(従業員数は事業者の申請数によります)

【例】一次下請けの市内企業への発注割合が 50%以上なら 2 点、75%以上なら 4 点となる場合において、第 1 号様式で活用目標値を「75%」と申請した。履行結果を確認したところ、発注割合が 72%だった。
→「技術提案等が達成されなかったときの取扱」の対象となります

(13) 地域への貢献

評価内容	(公財)横浜企業経営支援財団による「横浜型地域貢献企業」認定の状況进行评估します。	
	評価基準	配点
	横浜型地域貢献企業に認定されている。	2
	認定されていない。	0
評価に関する運用事項 (1) (公財)横浜企業経営支援財団による「横浜型地域貢献企業」認定の状況进行评估します。 (2) この認定制度は、横浜市民を積極的に雇用している、市内企業との取引を重視しているなど、地域を意識した経営を行うとともに、本業及びその他の活動を通じて、環境保全活動、地域ボランティア活動などの社会的事業に取り組んでいる企業等を、一定の基準の下に「横浜型地域貢献企業」として認定し、その成長・発展を支援する制度です (3) 評価基準日は入札期間最終日の時点で有効な登録とします。 (4) 認定制度は(公財)横浜企業経営支援財団 HP で確認してください。 http://www.idec.or.jp/keiei/csr/index.php		
技術資料作成時の注意点 (入力シート記入の注意点) (1) 【認定状況】 (公財)横浜企業経営支援財団の横浜型地域貢献企業の認定の状況についてプルダウンリストから選択して入力します。		
添付資料の注意点 (1) 評価基準日に有効な「横浜型地域貢献企業認定証の写し」を添付します。 ただし、認定証の交付を受ける前においては、横浜型地域貢献企業の認定審査結果に係る通知書の写しでも可能です。		

(14) 災害発生時の対応力

評価内容	所定の建設機械の保有状況を評価します。	
評価基準		配点
評価対象建設機械を所有している又は長期（1年以上）の賃貸借契約中である。	1	
上記以外	0	
<p>評価に関する運用事項</p> <p>(1) 下記の建設機械を評価対象とします。 ブルドーザー、ドーザーショベル、掘削機、モーターグレーダー、トラッククレーン、クローラクレーン、油圧式クレーン、クレーン付きトラック、タイヤショベル、振動ローラ、大型ダンプ車</p> <p>(2) 大型ダンプ車は、車両総重量 8 t 以上又は最大積載量 5 t 以上で、「土砂等を搬出する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」に基づき、建設業用として表示番号の指定を受けているものに限り、</p> <p>(3) 評価対象の建設機械について、入札期間最終日の時点で有効な所有している又は長期（1年以上）の賃貸借契約中であるものを評価対象とします。</p>		
<p>技術資料作成時の注意点（入力シート記入の注意点）</p> <p>(1) 【保有の状況】 評価対象となる建設機械を保有の有無をプルダウンリストから選択して入力します。</p> <p>(2) 【評価対象機種】 保有ありの場合は、評価する建設機械名を下段にある名称リストから1つ選択しボタン部分にチェックを入力します。チェックした機種が自動表示（入力）されます。</p> <p>(3) 保有がない場合は選択不要です。誤って選択した場合は「選択解除」ボタンを利用してください</p>		
<p>添付資料の注意点</p> <p>(1) 建設機械を所有していること又は長期賃貸借契約（契約期間中であり、かつ契約始期から契約終期までが1年以上の賃貸借契約に限る。）をしていることが確認できる書類（売買契約書の写し、車検証の写し（自社所有の建設機械の場合）、譲渡証明書の写し、賃貸借契約書（延払契約書・割賦払契約書も含む）の写し）及び当該建設機械の写真（側面から撮影した全体が写っているもの）。</p> <p>なお、リース申込書、支払明細書の資料では、評価できません。</p>		

(2) 大型ダンプ車においては表示番号(〇〇〇建〇〇〇〇〇)及びナンバープレートが写っているものに限り、ただし、写真で表示番号(〇〇〇建〇〇〇〇〇)及びナンバープレートが写っていても、ぼやけていたり、文字・数字が判読できないときは評価しないことがあります。

(15) 災害出動実績

評価内容	災害などの際、実際に緊急出動した実績を評価します。	
評 価 基 準		配 点
当該土木事務所が緊急契約した元請会社又は同契約における「緊急契約出動事業者確認書」に記載がある企業。	1	
上記以外	0	
<p>評価に関する運用事項</p> <p>(1) 土木事務所が発注する工事において、当該土木事務所が前年度に発注した緊急契約の工事で、出動した事業者の実績を評価します。</p> <p>(2) 前年度とは入札期間最終日の時点における前年度とします。</p> <p>(3) 評価は、緊急契約時に当該土木事務所と取り交わした「緊急契約出動事業者確認書」により行います。</p> <p>(4) 通常の緊急契約の場合は元請企業を評価対象とし、災害時協力協定に基づいた緊急契約の場合は、元請と協力会社を評価対象とします。</p> <p>(5) 評価を希望する場合、「緊急契約出動事業者確認書」の添付がないと評価できませんので、ご注意ください。</p>		
<p>技術資料作成時の注意点（入力シート記入の注意点）</p> <p>(1) 【緊急契約の実績】 当該土木事務所における前年度の緊急契約の実績をプルダウンリストから選択して入力します。</p> <p>添付資料の注意点</p> <p>(1) 土木事務所の確認印がある「緊急契約出動事業者確認書」の写しを添付します。</p> <p>(2) 土木事務所の確認印が無いものは、無効となりますのでご注意ください。</p> <p>(3) 「緊急契約出動事業者確認書」は、下記ホームページにてダウンロードして下さい。</p> <p style="padding-left: 2em;">横浜市総合評価落札方式ホームページ 財政局＞公共施設・事業調整課＞総合評価落札方式 http://www.city.yokohama.lg.jp/zaisei/org/kokyo/sougouhyouka/</p>		

(16) 男女共同参画及び女性活躍の推進

評価内容	男女がともに働きやすく、女性の個性と能力が十分に発揮できる職場づくりに向けた取組状況を評価します。	
	評価基準	配点
	厚生労働大臣の認定（くるみん、プラチナくるみん、えるぼし）、横浜市政策局による「よこはまグッドバランス賞」認定を受けている。	2
	次世代育成支援対策推進法又は女性活躍推進法における一般事業主行動計画提出義務がない企業が、任意で同計画を届け出ている。	1
	上記以外	0
評価に関する運用事項 (1) 次世代育成支援対策推進法又は女性活躍推進法における厚生労働大臣の認定（くるみん、プラチナくるみん、えるぼし）又は横浜市政策局による「よこはまグッドバランス賞」認定を受けていることを評価します。（次ページ参照） (2) 次世代育成支援対策推進法・女性活躍推進法における一般事業主行動計画の提出義務がない企業が、任意で同計画を届け出ていることを評価します。（次ページ参照） (3) 評価基準日は入札期間最終日の時点で有効なものとしします。 (4) 共同企業体の構成を要件とする発注の場合、評価対象となる企業については、P14 (イ) 入札参加条件が共同企業体（JV）の場合の評価を参照してください。		
技術資料作成時の注意点（入力シート記入の注意点） (1) 【取組状況】 取組の状況をプルダウンリストから選択して入力します。 (2) 【添付資料】 取組状況の選択により、自動で表示（入力）されます。		
添付資料の注意点 (1) 「くるみん、プラチナくるみん」の評価申請する場合は、「基準適合一般事業主認定通知書の写し」または「基準適合認定一般事業主認定通知書の写し」を添付します。 (2) 女性活躍推進法における厚生労働大臣の認定「えるぼし」を評価申請する場合は、その「基準適合一般事業主認定通知書の写し」を添付します。 (3) 横浜市政策局による「よこはまグッドバランス賞」の認定を評価申請する場合は、「認定通知書の写し」もしくは「認定証の写し」を添付します。 (4) 次世代育成支援対策推進法又は女性活躍推進法において、一般事業主行動計画の提出義務がない企業が、同計画を任意で届け出たことを評価申請する場合は、「一般事業主行動計画の写し（都道府県労働局の受付印があるもの）」を添付します。		

男女共同参画及び女性活躍の推進の労働者数による加点対象

- (1) 加点対象は、下表に示す通り、常時雇用する労働者数により異なります。
- (2) 「一般行動事業主行動計画」については、都道府県労働局への提出が任意の企業のみ加点対象となります。
- (3) よこはまグッドバランス賞については、認定を受けた企業（従業員 301 人以上の企業は認定対象外となります）が加点対象となります。

評価対象 常時雇用する労働者数	0~100 人	101~300 人	301 人以上
次世代育成支援対策推進法の「一般事業主行動計画」策定・届出（1 点）	加点対象 （提出は任意）	対象外 （提出義務が有る）	対象外 （提出義務が有る）
女性活躍推進法の「一般事業主行動計画」策定・届出（1 点）	加点対象 （提出は任意）	加点対象 （提出は任意）	対象外 （提出義務が有る）
次世代育成支援対策推進法の認定（くるみん、プラチナくるみん）（2 点）	加点対象 （提出は任意）	加点対象 （提出は任意）	加点対象 （提出は任意）
女性活躍推進法の認定（えるぼし）（2 点）	加点対象 （提出は任意）	加点対象 （提出は任意）	加点対象 （提出は任意）
よこはまグッドバランス賞の認定有無（2 点）	加点対象 （提出は任意）	加点対象 （提出は任意）	対象外 （表彰対象外）

評価対象	有効期間	提出資料
次世代育成支援対策推進法または女性活躍推進法の「一般事業主行動計画」策定・届出の有無	計画期間 （計画書に示された計画期間内）	労働局の受付印のある 「一般事業主行動計画の写し」
次世代育成支援対策推進法の認定（くるみん、プラチナくるみん）	認定日以降	次世代育成支援対策推進法に基づく 「基準適合一般事業主認定通知書の写し」 または 「基準適合認定一般事業主認定通知書の写し」
女性活躍推進法の認定（えるぼし）	認定日以降	女性活躍推進法に基づく 「認定通知書の写し」
よこはまグッドバランス賞の認定	認定期間（1 年間） 1/1~12/31	「認定通知書の写し」または 「認定証の写し」

※評価基準日は入札期間最終日

(17) 新たな担い手の育成

評価内容	主任（監理）技術者の指導に従い、建設工事に従事・補佐する技術者を配置し、育成することを評価します。	
	評価基準	配点
	若手・女性を「担当技術者」として専任配置する。	1
	若手・女性を「担当技術者」として専任配置しない。	0
評価に関する運用事項 (1) 本評価項目は、平成 29 年度から試行運用する項目です。 (2) 評価項目「新たな担い手の育成」では、主任（監理）技術者の指導のもと、建設工事に従事・補佐する「担当技術者」として若手・女性を配置し、将来の技術者として育成することを評価します。 (3) 「担当技術者」は、専任配置であり、現場代理人と兼任は出来ません。 また、3か月以上雇用期間（正社員）を有する必要があります。 (4) 若手の「担当技術者」とは、入札期間の最終日において満年齢40歳未満の者を指します。 (5) 女性の「担当技術者」とは、女性であることを指します。 (6) 共同企業体の構成を要件とする発注の場合、評価対象となる企業については、P14(イ) 入札参加条件が共同企業体（JV）の場合の評価を参照してください。 (7) 契約後に下記事項を実施することが必要です。 ア コリンズに「担当技術者」として登録する。 イ 施工計画書に氏名・役割を記載する。		
技術資料作成時の注意点（入力シート記入の注意点） (1) 【担当技術者の配置】 担当技術者に若手・女性を専任配置するかについてプルダウンリストから選択して入力します。 (2) 【担当技術者氏名】 氏名が自動的に表示（入力）されます。 (3) 【添付資料】 若手の場合は、生年月日、女性の場合は、性別が記載されている証明資料をプルダウンリストから選択し添付します。		

添付資料の注意点

【担当技術者の証明】

(1) 若手か女性であることを証明する資料

ア 若手の場合（年齢を証明する資料）※

生年月日が証明できる資料を必ず添付すること。

「健康保険証、パスポート、住民基本台帳カードの写し、運転免許証の写し、住民基本台帳カードの写し、生年月日が記載された監理技術者証、監理技術者講習修了証の写し」

イ 女性の場合（性別が確認できる資料）※

性別が確認できる資料を必ず添付すること。

「健康保険証、パスポート、住民基本台帳カードの写し」

※ アとイの資料は、該当するどちらか一方を提出してください。

(2) 3ヶ月の雇用を証明する資料

「雇用保険証の写し(会社名の記載が有り)、健康保険証(自社名の記載があるもの)」
健康保険が、親会社名の健康保険組合に入っており、保険証に自社の名称が出てこない場合は、親会社と自社の関係がわかる資料（会社のパンフレットなど）を添付して下さい。

住所や個人番号など証明に不要な情報は塗りつぶしなどを行ってください。